

事前評価チェックシート

計画の名称： 茨城県における総合的な浸水・土砂災害対策の推進（防災・安全）緊急対策

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性【茨城県総合計画(改訂)「いきいきいばらき生活大県プラン」(H23～H27)】	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）【集中豪雨の多発化や台風の激化、都市化の進展等に伴う被害リスクの増大に対し、総合的な河川の浸水対策を実施することにより、水害に強い県土をつくるとともに、安心安全な県民生活の確保を図る。】	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性【一定の治水安全度を確保する河川延長及び割合を増加させることにより、安心安全な県民生活の確保を図ることができる。】	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性【事業区間において、河川改修により一定の治水安全度を確保して、計画規模の降雨に対し、想定される浸水被害の減少】	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性【河川改修の整備等を行うことにより、浸水被害を軽減することができる】	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性【水害に強い県土を作るとともに、安心安全な県民生活の確保を図る。】	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）【地元からの強い要望により河川事業を実施している】	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）【近年、集中豪雨、高潮等が発生し、全国各地で大きな被害が発生していることから、河川改修の整備要望が数多く出てきている】	○